

ガイド活用術!

リトルワールドでは土日祝日を中心に**無料解説ガイド**を実施しています。
ガイドは2種類あります。興味・関心にあわせてガイドスタイルを選んでみましょう♪

定時ガイド

本館展示室または野外展示場の1つのエリアを30分じっくりガイドします。場所・時間があらかじめ決まっているガイドです。

【こんな人におすすめ】

- 確実にガイドを聞きたい!
- 解説をじっくり聞きたい!

スポットガイド

ガイドがどこにいるかはお楽しみ…!
ガイドが園内を巡回しながら解説するスタイルです。すきま時間気軽に解説を聞くことができます。

【こんな人におすすめ】

- 短時間でささっと聞きたい!



CHECK!

入場ゲート入ってすぐガイド案内看板で
当日のガイド予定をチェック!



はっぴゅ!

緑の帽子やベストを着た人を見つけよう!
ガイドさんです。

当館 HP からガイド情報を確認できます。
4月の定時ガイドエリアはこの3つ!
エリアは月替わりなのでコンプリートを目指そう!

4月定時ガイドエリア

- ① 本館
- ② ヨーロッパエリア
- ③ トルコエリア



リトル HP

ガイド情報を
ここから確認!

みんなのけいじばん

よくくるコメント3選

アイヌの家

アイヌの家いえにいたクマは
どこにいったの?



手にケガをして、
山やまに帰りました…

もっと!

クマはアイヌの人々に毛皮や肉を与える存在でした。そのため、時には“カムイ(神)”として祀られることも。気になる方は“イオマンテの儀礼”を調べてみよう!



クマのヘルメット
(アラスカ トリンギット)

クマじゃなくて
オオカミですよね?

本館4室

ワンちゃんにも見えますが、
クマです。

もっと!

クマグループ(クラン・氏族)のリーダーが【クマグループ】であることを強調したり、つながりを強めるためにこういったヘルメットをかぶります。

本館5室

割れ目たいこ
(ヴァヌアツ)

いい音おとが出た!



根元ねもとを地中ちちゆうに埋めて立てる!
お祭りのときに鳴らすよ。

もっと!

全長4m! よく見ると、上の方には人の顔がかたどられている…!
太鼓の音はこの人の【声】なのかも?!



ドイツの春のお祭り「マイバウム」

みなさんはリトルワールドのヨーロッパエリアに立っている「マイバウム」をじっくり見たことがありますか？

ペイントされた柱にさまざまな職業の絵が描かれた看板が装飾されたもので、南ドイツでは町の広場などに立てられています。マイバウムとはドイツ語で「マイ (Mai=5月)」「バウム (Baum=木)」、つまり「5月の木」という意味です。

このマイバウム、毎年、もしくは数年に1回、5月1日に建て替える風習があり、その祭りのことを「5月の踊り」と呼びます。

マイバウムは建て替えられた後、毎晩見張りが立ちます。実は、「マイバウムを隣町の若者たちが盗む」といういたずらの風習があり、自分の町のマイバウムを隣町の若者たちに触れられると、マイバウムを盗まれたことになってしまうのです。返してもらうためには「ビールを何本」といった隣町の要求に応える必要があることも…？

ちなみに、リトルワールドに立てられているマイバウムの柱は青と白のしましま模様ですが、これはバイエルン州のイメージカラーです。

装飾にはどんな絵が描かれているのか、ぜひ見上げてみてくださいね。

マイバウムが
塗りなおされて
きれいになりました！

Before



After



文化に根付く動物いろいろ

みなさんは動物、お好きですか？

筆者学芸員 H は保護猫 2 匹を飼う動物好きで、ついつい動物モチーフのものを集めてしまいます。様々な地域の文化を動物に注目して見ていくと、身近な動物を象徴化してかわいらしく描いた姿をそばにおいていることも多く、なんだか不思議な共感を覚えます。



例えばトリングットのトーテムポール。一族の祖先とする動物が頂上に彫刻されます。リトルワールドにあるトーテムポールの頂上にいるワタリガラスは、世界の創造者としてとても尊敬されています。他に働きものの象徴ビーバー、永遠の命を象徴するカエルなどが彫刻されていて、祖先の動物にはクマやオオカミ、クジラなどもあります。苗字のかわりに好きな動物が名乗れたらすてきですよ。

ゾウの頭をもつ神様ガネーシャ。障害を取り除き成功と幸運をもたらす、タイではとつてもメジャーな神様です。ガネーシャはシヴァ神と女神パールヴァティの息子ですが、悲しいすれ違いでシヴァにはねられた首をシヴァの部下が見つけれず、ゾウの頭を持って帰ってきて息子体に付けたことでこのような姿になりました。ゾウが身近な存在であることが伺えます。



ペルーにある巨大な地上絵、ナスカの地上絵も動物が描かれているものが多くあります。昨年ペルー 大農園領主の家の壁画を修復に来てくれたハイメさんのお孫さんは、ワークショップの際にハチドリの上絵の手づくりスタンプを用意してくれました。ハチドリは渡り鳥で、ナスカでは雨季に見られることから豊穡の象徴とされていたようです。



そして筆者がネコ鼻肩ゆえに紹介したいのがエジプトのネコのミイラ。古代エジプトではネコはとても大切に扱われていて、人間と同じようにミイラにして吊われていたそうです。エジプト神話に登場するバステトもネコの姿をした女神です。私もネコと同じお墓に入りたい…。



ネイティブアートフラッグ in リトルワールド

先住民アートのデザインを、ミニサイズの旗（フラッグ）やトートバッグに描きましょう！さらに、参加者の皆さんのメッセージを大きな旗に描いて、本館プラザに飾ることもできます！

開催日：5/25(日)、6/29(日)、7/19(土)、
8/23(土)、9/20(土)

講師：ソダテル LABO 宮崎喜一氏、名川敬子氏

時間：10:30～15:30（※随時参加可能・予約不要）

場所：本館プラザ付近

参加費：500 円/一人



繊維・糸・布①

普段身につける衣服、靴、バッグ、テント、寝具…私たちの身の回りにある多くの物は、
天然繊維(羊毛・綿・絹・麻など)や化学繊維(ナイロン・ポリエステルなど)を原料とする繊維製品です。

私たちは、実に多くの繊維製品に囲まれて暮らしています。
人類は繊維とどう関わり、生活を豊かにしてきたのでしょうか？

●人類による繊維の利用 始まりは“体毛がなくなった”から!?

人類が動植物の繊維を利用し始めたのはいつ頃でしょうか。それは、人類が体毛を失い、衣服を身に着ける必要が生じた頃(7万5千年前など)にさかのぼると言われています。当初は毛皮をまとっていましたが、環境変化で大型動物が減ると、動植物から繊維を取り出し、糸を作り、衣服をつくりました。最も古い針が1万年前の遺跡から見つかっており、少なくともその頃には繊維から糸が作られていたことが分かります。

●紡績(繊維から糸をつくること)は人類の大発明

動植物由来の繊維を“天然繊維”といいます。

古くから利用されてきた天然繊維は、【麻】【綿】【羊毛】【絹】です。

天然繊維は、絹を除くと1本1本が短い繊維であるため、**つなぎあわせて1本の長い糸に加工する必要**がありました。

この工程を“紡績(ぼうせき)”と言います。

短い繊維を糸にする紡績技術は、糸と糸の組み合わせで多くの布が作られるようになったことを考えると、**人類の歴史の中でも大きな発明**だったといえます。

短繊維(麻・綿・羊毛)



長繊維(絹)



蚕の糸は天然繊維で最も長く、1本 1.5kmにも及ぶものもある。細く繊細なため、糸として使うには複数本を合わせる“製糸”工程が必要。

【繊維から糸をつくるための道具】



さいしょは“手”。指先でネジネジして糸にしたと考えられているよ



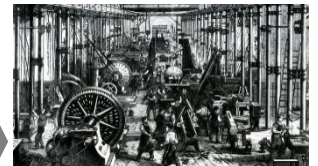
“紡錘車”

世界各地で使用。コマのように回して糸を紡ぐ。手より早く簡単! (本館2室)



“糸車”

紡錘車よりもっと早くて簡単。(本館2室)



15世紀ヨーロッパでは糸車が大型化。18世紀には大量生産が可能に。

ちょっとコラム

●布の機能性やさわり心地はどのようにつくられるの?

繊維から最終的に作られる“布”の機能性や触り心地は、様々な要素が組み合わさって成立します。

おおよそ次の3点が、布の機能性と触り心地に影響を与えます。

- ①原料となる繊維の種類 ②紡績・製糸方法と糸の太さ(番手) ③製布方法(織り・編み・不織…)

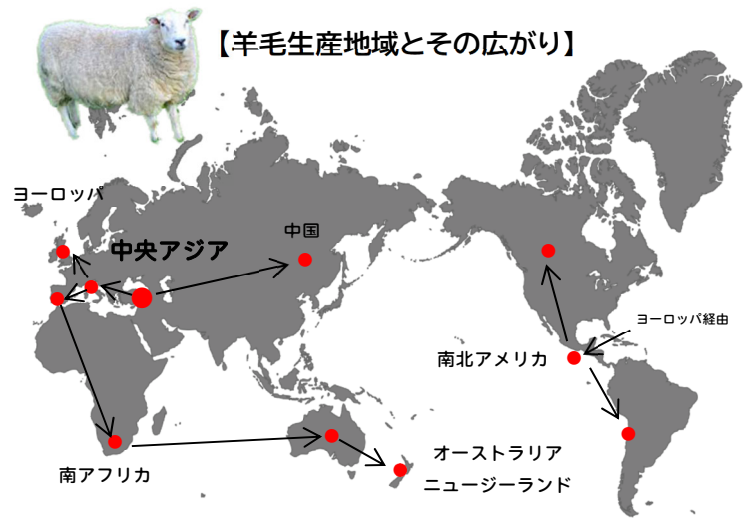
繊維・糸・布②

人類が最も長く利用してきた繊維は天然繊維。
今回はその中でも「羊毛」についてくわしく見ていきます。

●羊毛の利用

羊と人の関係は紀元前 6000 年頃**中央アジア**で始まり、紀元前 2200 年頃の**メソポタミア**では**羊毛で毛織物が作られていた**とされています(諸説あり)。

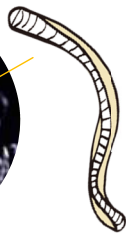
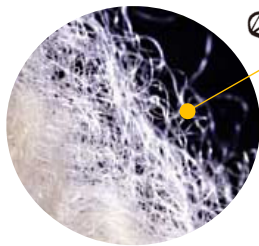
その後、羊毛の利用は地中海を經由してヨーロッパ各地に広まり、10世紀頃の羊毛の産地はスペイン・イギリスでした。現在、羊は世界中で飼育されていますが、羊毛の主な生産国はイギリスの植民地であったオーストラリアとニュージーランドとなっています。



●【繊維の構造と羊毛製品の特徴】

保温のヒミツはクルクル繊維

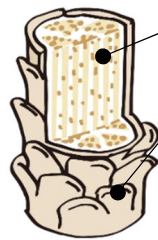
羊の毛といえばクルクルしたカーリーヘア。「クリンプ」と呼ばれるこの縮れがあることで繊維同士が絡み合い、その間に空気を含むため保温性が高まります。羊毛製品独特のチクチクした肌触りや伸縮性の高さも、このクリンプによるものです。



羊毛の繊維は1本1本ねじれている
(クリンプ)

夏にすぐれた調湿性(吸湿/放湿)

羊毛は吸湿・放湿性に優れ、夏やアウトドアにも最適。繊維内側の「コルテックス」が湿気を吸うと、外側の「スケール」が開き湿気を放出。コルテックス内の水分が減るとスケールは閉じるため、衣服内は常に快適な湿度に保たれます。



コルテックス(皮質)
スケール(表皮)
開いたり、閉じたりする「呼吸する」生きた繊維。

登山用インナー

登山中は外気・体温の上がり下がりが大きいので、保温性も調湿性も併せ持つ羊毛製インナーが多く作られています。

羊毛がつかわれているもの(例)

- ①敷物(シリア) * 本館2室「牧畜」
- ②帽子(ペルー) * 本館4室
- ③テントの内幕(モンゴル)



毛の手入れに使うもの

- * 本館2室「牧畜」コーナーに展示中
- ①毛すきブラシ(モロッコ)
- ②じゅうたん織用ブラシ(モロッコ)
- ③毛刈りはさみ(イラン)
- ④毛刈りはさみ(イラン)



予告 楽しく学ぶ! 文化人類学教室第6回「繊維と布から見る世界」では、繊維の特徴だけでなく織り方などにも注目しながら、世界各国で作られる布製品を見ていく予定です! お楽しみに。

第2弾!

学芸員おすすめ BOOK ご紹介



今年も本格的な夏がやってきます! 適切に冷房を使いつつ、涼しい部屋の中で快適に過ごす時間をつくりたいものですね。そんなおうち時間のお供に、今回は第2弾として、学芸スタッフがおすすめする本(マンガ)をご紹介します♪



「鍋に弾丸を受けながら」

青木 潤太朗(原作), 森山 慎(作画)
KADOKAWA

学芸員
Y

あらすじ

治安の悪い場所の料理は美味しい——!? 50000点の美味を求めて美少女(?)が世界の危険地帯に赴き、現地の怪しくも魅力的な料理の数々を喰らう!
ノンフィクション&カオス&ハードグルメリポートコミック!(公式を抜粋・転載)



▲公式 X

海外の「治安が悪い場所」とは書いてあるが、紹介されるのは現地の日常に即した食事であり、異文化のディープなところを楽しめる一冊。原作者が釣り人でもありそうした話題も多いため、読んでいると釣り好きの人は海外でも釣りがしたくなる……かも?



「夢の雫、黄金の鳥籠」

篠原千絵(著)
小学館

学芸員
I

あらすじ

舞台は16世紀初頭の大帝国・オスマントルコ。奴隷として連れてこられた少女アレクサンドラはギリシャ商人を名乗る青年と出会い、彼の元で教育を受ける。その後、彼に連れられた場所はなんとオスマン帝国の中枢イスタンブル。ヒュッレムと名を変えた彼女が献上されたのは、皇帝スレイマン1世だった…。(公式を抜粋・転載)



▲公式 HP

オスマン帝国の最盛期を築いたスレイマン1世とその寵妃ヒュッレムのラブロマンス…! と思いきやほぼ政争物語です。とにかく絵が美しく、オスマン帝国時代のきらびやかな衣装もステキ。リトルワールドでも体験できる衣装もあるかも…?



「天幕のジャードウーガル」

トマトスープ(著)
秋田書店

学芸員
G

あらすじ

13世紀、地上最強の大帝国「モンゴル帝国」の捕虜となり、後宮に仕えることになった女・ファーティマは、第2代皇帝・オゴタイの第6夫人で帝国に複雑な思いを抱く女・ドレゲネと出会い…!? 大帝国を揺るがす女ふたりのモンゴル後宮譚!(公式を抜粋・転載)



▲公式 HP

13世紀当時の西~中央アジア世界を舞台に、主人公シタラ(ファーティマ)が自身の知識と知恵を武器に処世していく物語。アニメ化も決定した注目作です! 意外と詳しく知らないモンゴル帝国の歴史がすんなり頭に入ってきます。可愛い絵とのギャップも良き!



カビ・害虫対策



夏だ！雨だ！湿気の季節だ！

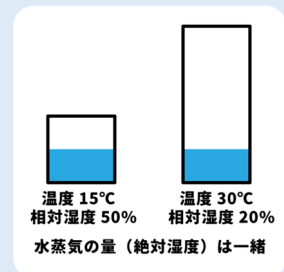
これからのシーズンは高くなり続ける**温度**のみならず、**湿気**についても気をつけておかないとすぐに**カビや害虫**がムンムンし始めます。今回の学芸通信では、**カビや害虫を発生させないための温湿度管理**を博物館資料の保存のプロ（自称）がご紹介♪

【はじめに】 温度と湿度の関係

空気中に含むことができる水蒸気の量は、温度によって変わります。暖かい空気は多くの水分を含むことができますが、冷たい空気には少ししか含むことができません。

重要ポイント

- 温度が**上がる**→相対湿度（RH%）は**下がる**。
 - 温度が**下がる**→相対湿度（RH%）は**上がる**。
- ※どちらも空気中にある水蒸気量（絶対湿度）は変わらない。



そして大切なポイントとして、**虫やカビは温度が 20°C～32°C**、かつ、**相対湿度が 60%以上だと活発**になります。つまり、この温度・相対湿度のどちらかをこの状態にしなければよいのです。

カビ・害虫対策 実践編



★ 湿度を 60%未満にしよう！

カビや害虫を発生させない、単純にして明快だけど実際にやると意外と大変な対策です。一般のご家庭にあるエアコンの除湿機能でもヨシ、逸般の誤家庭にある業務用除湿機でもヨシ！ ポイントは、**60%以下をキープすること**。ただし相対湿度 40%台になると、こんどは紙などが劣化しやすくなるので下げすぎもよくありません。お肌も乾燥してしまいます。

★ こまめに掃除しよう！

カビや害虫はほんの少しのホコリでも栄養にしてしまいます。窓のサッシなどにホコリがたまっていると、結露した水分とあわせてカビや害虫にとってはパラダイスに。手垢などからもカビは生えるので、ガラス拭きも大切です！ **博物館・美術館などでガラスに触っちゃいけない理由の一つでもあります。**

温湿度管理で一番お手軽・簡単・確実なのはエアコンでしょうかね。ただし、エアコンの除湿機能の多くは室内から吸引した高湿の空気を室外機で冷やし、結露させる（相対湿度 100%を超えさせる）ことで水分を減らす方法のため、室内の空気がすでに冷たかったり外気によって室外機が暖められていると効果が減少したりします。なので一番のおすすめは、一度暖房を入れて空気を温め空気体積当たりに吸収できる水分量を増やしたうえでエアコンに吸わせ、冷却することで空気中から水分を絞り出し、低温になった空気を室内に戻す方法となります。IoT 機器を持っていて家に居なくてもエアコン操作できる人はぜひ試してみてください。それはそれとして文字数がたりない





バンコクの三大寺院巡り

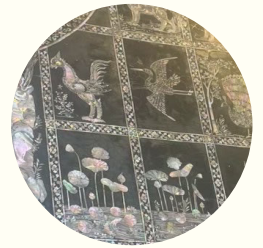
学芸通信⑤
2025年度

サウディー！こんにちは！今回は、学芸員 M が仏教の国タイでの旅の様子をしポートします。
訪れたのはバンコクでも特に有名な“三大寺院” ワット・ポー、ワット・アルン、ワット・プラケオ。
ワットはタイ語で“寺院”を表し、それぞれの寺院はチャオプラヤー川を挟んだ対岸に位置しています。
そのため船を使つての観光がポピュラーです。船賃は破格の 1 人 3 バーツ＝日本円で約 13 円！
気温 34 度の中でもお得に涼しく移動できる観光地となっています。
それではここから、実際に訪れた三大寺院の魅力を、一つずつご紹介していきます。

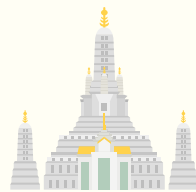
ワット・ポー



最初に訪れたのは、全長 46m の巨大な金色の仏像で知られるワット・ポー。
涅槃姿にも関わらず、高さはなんと、奈良の大仏の約 2 倍になります！
静かに微笑みながらも圧倒的な存在感を放ち、自然と手を合わせてしまう存在感です。
全身が金色に輝いており、足の裏には真珠を使用した緻密な螺鈿細工が施されています。
ここには 108 の仏教の世界が描かれており、一つひとつに意味があるとのこと。
美しく連なっている様子まさに“静かに語りかけてくる曼荼羅”のようでした。
タイ古式マッサージの総本山としても有名で、敷地内で施術を受けられる
スペースも設けられています。



ワット・アルン

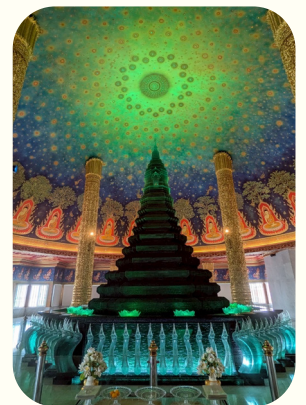


ここは、王族の儀式が行われる場所として重要な役割を担っている寺院です。
夕日に照らされた姿から別名“暁の寺”とも呼ばれている美しい姿が人気になります。
17 世紀に存在したとされるアユタヤ時代に建立され、ラーマ 2 世の時代に現在の姿になったそう。
三島由紀夫の小説の舞台としても有名な場所で、日本人観光客の姿を多く見かけました。
かつてはエメラルドの仏様が祀られており、本堂では厳かな空気の中お経の音が響いています。
現在は夕方の景色を目当てに観光客が訪れる場所です。

ワット・プラケオ



SNS でも話題となった“宇宙空間のような天井画”がある寺院です。
仏塔の中にはエメラルドグリーン色の仏塔と極彩色の天井画が広がっています。
市内中心部から離れてはいますが、足を運ぶ価値のある人気のスポットです。



タイは日本と同じ仏教の国。
首都バンコクには今回ご紹介した場所以外にも至るところに寺院があり、
宗教が日々の暮らしに深く根づいている姿が印象的でした。
今回訪問した寺院だけでも建設時期や様式、規模はさまざまでしたが、
「生活の平穏を願う」という共通の想いが込められているのはどこも同じです。
印象的だったのは、観光客ではない地元の人々が熱心に祈りを捧げる姿。
その真剣なまなざしから“祈ることの意味”を考えさせられました。





タイの独特な“食べ物”事情

学芸通信⑤
2025年度

裏面では“食”をテーマに、バンコクの魅力をレポートします。

タイ料理と聞いてまず思い浮かべるものの一つが、あの独特な香りと刺激…

——そう！唐辛子やパクチー、そして日本の醤油とは一味違うナンプラー等の調味料です。

現地ではこれらを駆使して、辛味・酸味が調和した奥深い味を作り上げています。

これらを多彩な食材と組み合わせることで、タイ独特のスープや炒め物になります。

暑さが厳しいタイだから、香味野菜やスパイスの力で体を内側から整える知恵が根づいており、

爽やかな香りや、発汗を促す鋭い辛味で“食べる元気”を生み出しているのです。

日本ではまだ馴染みの薄い食材もありますが、タイでは暮らしの中に当たり前に関わり込む日常の味。

一口ごとに広がる香りと刺激の世界を、ほんの少しだけご紹介します！

タイの味付け



パクチーは臼と杵でペースト状に
つぶしてして使用することも。



本館で展示中の
実物資料



ワールドバザールにて
好評販売中

すっかり日本でも御馴染みのパクチーですが、

タイでは屋台～高級店に至るまで、あらゆる場所で多彩なパクチー料理を楽しむことが可能です。

葉は刻んで薬味に。茎や根はすり潰して炒め物やスープの香りづけに使われることもあります。

独特の香りはリナロールという成分によるもので、食欲増進や消化促進効果があると言われています。

実は日本でも古くは奈良時代にコリアンダーの名前で薬用植物として伝わった記録もあるそう。

独特の香りから“カメムシソウ”と不名誉な名前と呼ばれることもあります。

最近ではエスニック料理ブームとともに専ら“パクチー”の名で親しまれています。

トム ヤム ○○



トムは“煮る” ヤムは“混ぜる”を意味し、酸味と辛味の効いたスープ料理全般を指しています。

中でもエビが入った“トムヤムクン”を思い浮かべると方が多いのではないのでしょうか…？

でも、実はそれだけではありません。例えば鶏肉を使った“トムヤムガイ”と呼ばれるものや、

魚を使った“トムヤムプラー”等、さまざまな種類があることはあまり知られていません。

スープを一口飲めば、タイ料理とはどういったものなのか、身を持って感じられるはず。

そしてリトルワールドでは本格的な香りと辛さを楽しめるトムヤムクンが実際に販売されています！

辛味の奥に広がる酸味とパクチーの爽やかな香りを、ぜひ実際に味わってみてください♪



最後までご覧いただきありがとうございます。

タイでは調味料と食材の組み合わせによって
今日までに多種多様な料理が生み出されてきました。

ご来館の際には、ぜひ五感をフル活用して

タイの世界をより深く楽しんでみてくださいね。

そして今回の記事で触れることはできませんでしたが、

現地で使われている道具や映像、建物などといった

資料からもタイの暮らしや文化を感じることができます。

実際に展示してあるので、食事と併せてぜひお楽しみください。



本館第2室 技術 Technique 編

まだまだ残暑が続く毎日。暑さにちょっと疲れたら、冷房の効いた本館展示室でクールダウンしてください。今回は第2室のなかで、学芸員オススメの展示資料をコメントとともにご紹介します♪

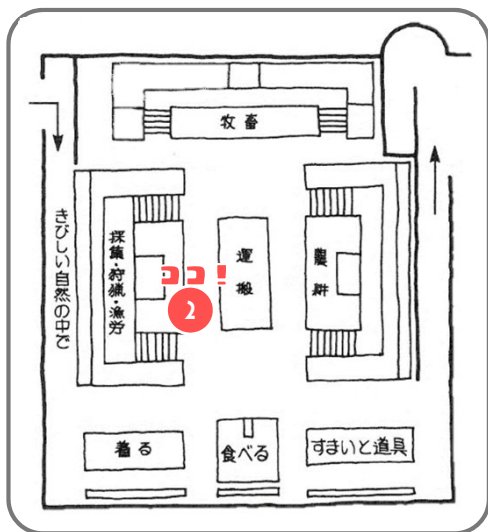
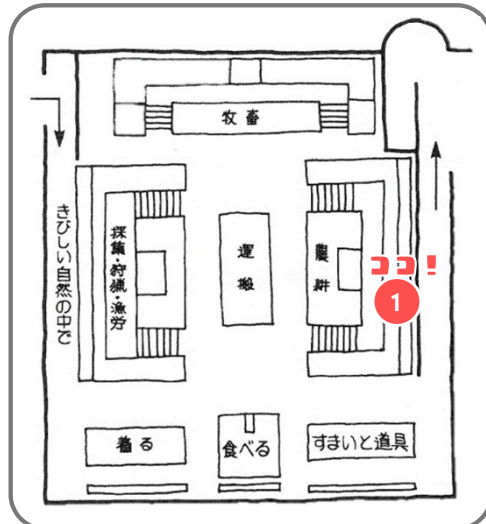
1 ニワトリかご (タイ)

タイの農耕民、リス人、ラフ人、メオ人のもの。形はそれぞれだが、どれもタケを編んで作っている。市場でニワトリを売り買いするときに運ぶために使う。

ニワトリが入るんですか？
ハイ！入るんです！
ちょっとせまそうですが、意外と入るんです。コケッコー！



ケッコーはいる



2 舟 (ケニア)



見上げてごらん

これが「カイ」

東アフリカの国、ケニアのバリンゴ湖で、マサイ系民族の漁民が交通や漁に使う舟。こぎ手は中央に座り両手にカイをもってこぐ。“アンバッチ”という熱帯アフリカの沼地、湖、川に生育するマメ科の木を束に組んで作られている。

水深が浅い湖沼で活躍する舟です。舟の形や底をよ〜く観察してみてください。広いアフリカでもこのタイプの舟を使うところはあまり多くありません。エジプトのナイル川では、アシ科の植物パピルスを使った同タイプのカヌーがあります。

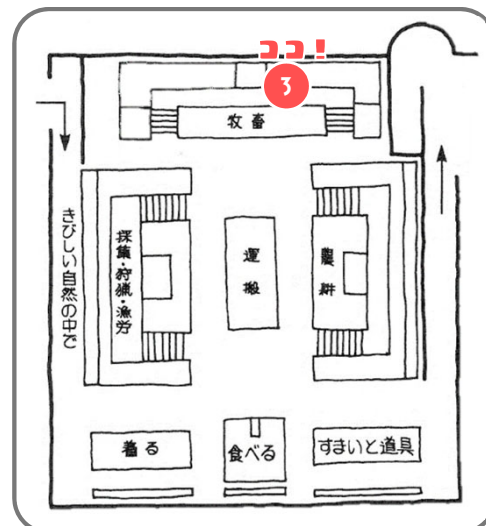
3 乳しぼりのイス (スイス)

乳しぼり作業をするときに座るイス。イス脚の先が丸くて自立しないのは、乳しぼり作業の時は両手が必要であり、搾乳者が牛から牛へと移動するため。

酪農がさかんなスイスならではの道具。名作アニメ「アルプスの少女ハイジ」のアルムおんじも使っていた…かも！（誰か確かめてみてください！）



私の両手はウシのため



世界の9月

はどんな月？

9月。昨今の日本では、まだまだ夏の最中、残暑厳しい時期に感じられますが、空を見上げると、雲の形が少しずつ秋のそれへと移り変わっていく、そんな時期にあたります。

けれども、世界に目を向けてみると、「9月」という同じ名前のもとに、まったく異なる季節や文化が息づいていることに気づかされます。世界の9月は、必ずしも「秋」とは限らないのです。

南半球では「春のはじまり」

たとえば、オーストラリアやニュージーランドといった南半球の国々では、9月は春の入り口です。冬の終わりを迎え、野に花が咲き始め、気温が上がるとともに、人々は戸外での活動を楽しむようになりま

す。日本で「読書の秋」を迎える頃、南半球では「ピクニックの春」が始まるのです。同じ「9月」でありながら、そこにある風景も、感じ方もまったく異なります。

私たちにとって当たり前の「9月＝秋のはじまり」という感覚は、実は地域や気候帯によって異なるものだといつと改めて気づかれます。

暦と信仰に見る9月の姿

さらに別の角度で見てみましょう。世界には日本で主に使う太陽暦とは異なる暦で日々を刻む文化も多く存在します。

ユダヤ暦では、9月ごろに新年にあたる「ロッシュハシヤナ」が行われます（今年は9/23～24）。これは自己を省みる時間でもあり、家族や地域で祈りとともに新しい年を迎える大切な行事です。

また、中国や韓国など東アジアでは、旧暦に基づく「中秋節」が9月にあたるものが多くあります（今年はこの9月ですが）。月を眺めながら月餅や季節の食べ物を含め、家族や先祖とのつながりを感じるこの行事は、日本のお月見とも共通する部分があります。

こうして見ていくと、暦や宗教的背景が異なれば、9月の意味や過ごし方も大きく変わることがわかります。暦とは、単なる日付の数え方ではなく、その土地の歴史や価値観を映す「文化の鏡」とも言えるのかもしれない。

新年度が始まる9月も



日本では新年度は4月に始まり、9月はちょうど中間点にあたります。夏休みが終わり、少し気持ちを引き締めて学校や仕事に戻る「リスタートの月」といったイメージが湧くか。

一方、アメリカやカナダ、ドイツなど多くの国では、9月が新学年のスタートです。新しい教科書、新しいクラス、新しい友人との出会い。9月は「まったく新しい生活が始まる月」として、多くの希望と緊張感に包まれます。

同じ9月でも、「終わり」として迎えるのか、「始まり」として迎えるのか。その感じ方の違いには、文化や制度以上に、時間そのものの捉え方の違いが表れているように感じます。

暦の向こうにある、世界のくらし

同じ「9月」という言葉のもとに、春の風を感じる人もいれば、新しい年を迎える人もいます。信仰に心を傾げる人もいれば、月を眺めて家族と静かに過ごす人もいます。

私たちはカレンダーの数字を見ながら日々を過ごしていますが、その数字の向こうには、それぞれの文化や歴史に裏打ちされた時間の流れが広がっています。

今日、私たちが迎える9月には、どんな空気が流れているでしょうか。そして、その同じ瞬間に、地球の裏側ではどのような季節が始まっているのでしょうか。

そんな想像をめぐらせてみると、何気なく過ごす一日も、少し違った風景に見えてくるかもしれません。



「北海道 アイヌの家」修復のためクラウドファンディングを実施します!

リトルワールド 第三弾

「アイヌの家」を
救い、伝統技術を
未来へ

特設ページ (10/10オープン) ▼



READYFOR

▼「北海道 アイヌの家」現状。左2棟が分家、右が母屋。



「北海道 アイヌの家」は1983年の復元以来、19世紀末ごろの二風谷アイヌの生活を伝え続けてきました。これまでに何度かカヤの葺き替えを行ってきましたが、今回あらためて母屋のカヤ葺き替えを実施します!

分家の葺き替えは2017年に行いましたが、母屋の葺き替えは2010年以来、およそ15年ぶりとなります。あわせて、傷みが目立ってきた高倉や



▲すでに屋根の一部は穴が開き、応急処置で何とかしている現状です。

クマの檻、便所といった付帯設備も更新する予定です。

この家屋の修繕には、伝統技術を熟知した職人の力が欠かせません。現地の素材や技法にこだわり続けてきたこの建物を次の世代へ受け継ぐために、皆さまのお力をお貸しいただければ幸いです。

あたたかいご支援を、心よりお願い申し上げます。

二風谷の職人さんのコメント入り動画 ▶



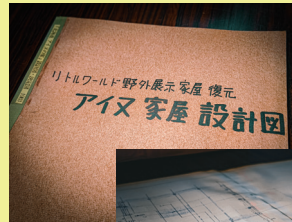
「アイヌの家」修復クラウドファンディング 返礼品の一部をご紹介します

ちよつとだけ先取りして

オリジナルクリアファイル オリジナルトートバッグ

1983年復元当時の設計図に描かれた「北海道アイヌの家」母屋の姿をデザインしたクリアファイルとトートバッグを企画中！

これを手に街へ繰り出せば、建築家の視線を独り占めできること間違いなし(?)



※画像は開発中のものです、実際の製品とは異なる場合があります。

「北海道アイヌの家」母屋アクリルスタンド 「北海道アイヌの家」クマの人形アクリルスタンド



腕を怪我していなくなってしまったクマが、アクリルスタンドになって帰ってくる！さらに、「アイヌの家」母屋のアクリルスタンドも開発中。使い方はいろいろ。クマのアクスタを前に置いてリトルワールドの展示を再現するもよし、某マンガのキャラの背景として楽しむもよし!?

※画像は開発中のものです、実際の製品とは異なる場合があります。

ほかにもアイヌ工芸品や
学芸員によるオーダーメイドガイドも……？
詳しくはチラシ・特設ページをご確認ください！



あわせて楽しむ

写真展「ともに、歩む

— 二風谷アイヌとの協働の軌跡 —

会期：10月4日（土）～12月7日（日）

場所：本館1階ミュージアムギャラリー、
「北海道アイヌの家」分家内



秋だ！食だ！食文化だ！

「食べる」ということは、人が生きていく上で最も大切なことです。

今はスーパーに行けば何でも手に入りますが、かつては自然に生えているものを食べていたり、農作物を植えて育てたり、はたまた、動物や魚を捕まえたり、乳を得るために動物を飼育する必要がありました。住む場所の自然環境によって手に入れられる食材は異なるため、自然環境と食文化は深く結びついています。また、ただ食べるだけでなくおいしく食べることも大切！！今月は世界の食の多様性をみていきます。

●環境と主食

「主食」とは日々の食事の中心になる食べ物。

それぞれ国や地域でなにが主食となるかは、自然環境などにより左右される。



ムギ

中国東北部、西アジア・北アフリカ・ヨーロッパなど。寒くて栄養の無い土地でも育つ。



コメ

日本をふくめた東アジア・東南アジアの一部。暖かくて降水量が多い地域で育つ。

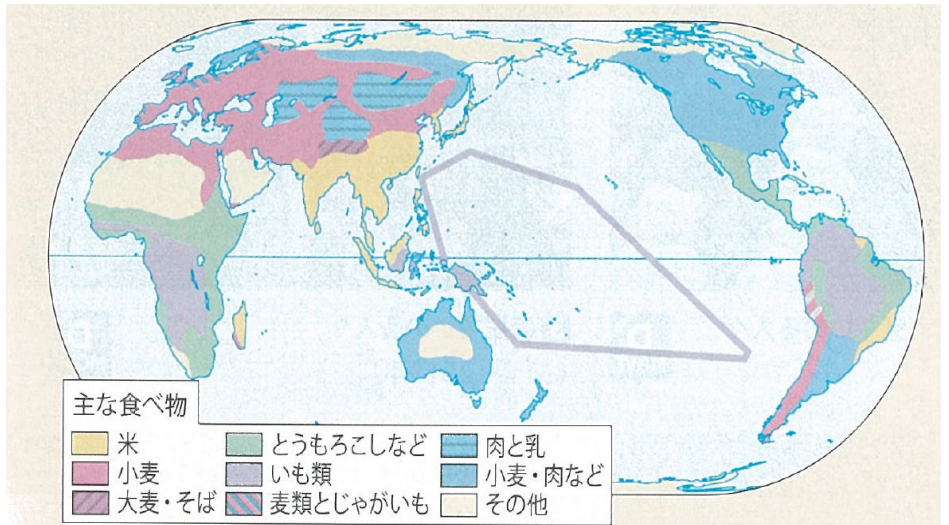


トウモロコシ

中南米・アフリカ一部。中南米が原産地で、乾燥地帯でもよく育つ。

イモ類

- ジャガイモ・サツマイモ…中南米
 - タロイモ・ヤムイモ…太平洋諸島
 - キャッサバ・ヤムイモ…アフリカ一部
- 栄養のない土地でも育つ。



画像出典:『新編 あたらしい社会 地理』東京書籍、令和7年度版



肉・乳

ユーラシア大陸一部。羊やヤギ、牛などの家畜を飼いながらその肉や乳を主食とする。食物が育ちにくい土地。

●おいしく食べる工夫

「食」…それはただカロリーを摂取するだけの行為ではありません。

調理方法のバラエティ — 火の使用

人類は「火」の使用によって食の可能性を広げてきました。

火を通すことでおいしく安全に色々な食材が食べられるようになったのです。



焼く・煮る・蒸すの順でよりムカい調理法。確かに、蒸し料理はおめでたい日に作られることが多いかも？

ウラ面へ続く➡

秋だ！食だ！食文化だ！（うらな）

●おいしく食べる工夫

調理方法のバラエティ — 調味料・香辛料

日本の料理の「さしすせそ」と言えば「塩・塩・酢・しょうゆ・味噌」。これ以外にも「コショウ」や「シナモン」などの香辛料も料理には外せません！

調味料・香辛料のやくわり

味付け

食欲 UP

防腐・保存

彩り



<https://www.mafr.go.jp/pr/aff/2108/spe1.01.html>

安全に食べたい！

下ごしらえ

そのまま食べると「毒」。ひと工夫加えると「食」。そのひと手間を惜しまないのが人間らしい…

キャッサバ(マニオク)芋は毒をもつためそのままでは食べられず、下ごしらえが大切。ここではその方法の1つを紹介。

①芋をすりおろす

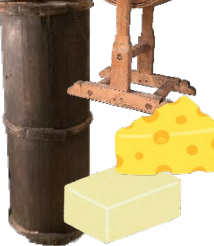


▽おろし器(インドネシア)

②すりおろした芋を水で溶かし、漉(こ)していく。毒が水に溶けて流れ出る。
◁ 漉し器(ブラジル)



③残った粉状のもの(でんぷん)を練ったりして食べる。実はタピオカの原料だよ。



保存・加工

おいしいものの加工しておくことで、1年を通して腐らせずに食べ物を確保！

◁ 腐りやすいお乳は、バターやチーズにして長期間保存するよ。バターづくり道具 左:ブータン・右:スイス



◁ 野菜は塩や唐辛子で漬け込んで漬物・キムチにすれば保存可能！漬物用甕(韓国)



まようしょく

共食 みんなで食べるとおいしいね

親子や仲間だけでなく、見ず知らずの人たちにも食べ物を分け与え、いっしょに食事をする行為は、人間ならではの行動です。ただ、食べるだけでなく、食事の場をともに過ごすことでコミュニケーションをとり、関係性が作られます。人間関係の形成と“共食”はとてもかかわりが深いのです…。



「北海道アイヌの家」修復のためのクラウドファンディング 挑戦中！

リトルワールドの「北海道 アイヌの家」は、1983年の復元以来、19世紀末の二風谷アイヌの生活を伝えてきました。

老朽化に伴い、二風谷から職人をお呼びして、母屋の茅葺き屋根を約15年ぶりに葺き替えます。高倉やクマの檻といった付帯設備も更新予定！現地の素材や技法にこだわり続けてきたこの建物を次世代へ受け継ぐため、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

リターン紹介

アイツが山から帰ってくる！？



ご支援・詳細はこちらから！



山形 月山山麓の家

12月半ばより屋根のふき替え工事のためしばらく中に入れません
工期の詳細等は当館HPをご確認ください♪

リトルワールドを一周すると最後に見えてくる大きなカヤぶき屋根のおうち、「山形県 ^{がっさんさんろく}月山山麓の家」。同じ日本列島でも、北海道や石垣島の家ならわかるけど、「なぜ山形県の家…？」と思う方も多いでしょう。今月はこのお家の魅力 ^{みりょく} を解説！修復が終わったらしっかり見学しよう！

月山山麓ってどこ？

月山は山形県の中央部に位置する標高 1,984m の山。この山のふもと、かつて、西川町 ^{つぎやまざわ}月山沢と呼ばれた集落にこの家が建っていました。月山沢の集落は寒河江ダム ^{さかづか} の建設により、現在はダム湖の下に、沈んでいます。



●リトルワールドへの移築経緯

月山沢を含めたこの地域が、ダム建設により沈むことがきまった昭和50年(1975)頃、リトルワールドも建設準備が進んでいました。リトル側では、日本列島の文化を【南日本】と【北日本】に分けて紹介するため、【北日本】の代表として、東北の民家移築の計画がたちあがっていました。そこにたまたま、この集落が水没する…ということになり、それならば！と移築が決定したそうです。

●家屋データ

【創建】1767(明和4)年 江戸時代中期
この時期は1階のみ、4室ほど
【増築】1888(明治21)年頃から
2階建て、中門、縁側などが増築。
現在の構造になったのは、
1919(大正8)年頃とされる。

昭和50年代当時 移築前の月山山麓の家



家の持ち主である遠藤さん(左端)への聞き取りの様子



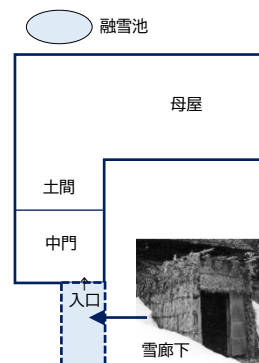
移築にむけ、解体中の様子

雪とたたかう家

東北の日本海側に位置する月山沢は日本有数の豪雪地帯 ^{ごうせつちたり}。家には豪雪に備えるための工夫が！



冬季の月山沢。2~3mの積雪があった年もあるそう。



①中門造り

土間側の前面にある突出部は「中門」と呼ばれ、家の入口として、また荷物置き場や雪払い場として利用され、屋内の暖気を逃さない工夫。東北日本海側の豪雪地帯に多い伝統的な家屋の構造。

②冬限定の雪廊下

積雪期には、中門につづく入口に「雪廊下」と呼ばれる木材とカヤで組み立てられる出入り口が作られ、家に入りやすくなる。

③融雪池

家屋の裏には下した雪を溶かすための池がもうけられている。

④板壁

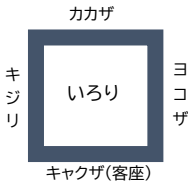
土壁は雪・雨に弱いため用いられず、板壁が使われる。

●間取りから見る

1階部分だけみてもたくさんの部屋があることがわかる！
それぞれどんな機能があるのか、少しのぞいてみましょう。

●ザシキ(座敷)

家屋の中で最も大切な場所で、ここにいろり(炉)を設けて、接客・調理・食事・休息・冬の夜なべ仕事などをする。食事は「タナマエ」でおこなう。



【いろりのオキテ】

- ◆人によって座る位置が決まっている
「ヨコザ」…主人、「カカザ」…主婦
「キヤクザ」…客人、「キジリ」…最も下座

◆常に清浄を保たなければならない

- ・いろりのフチを踏んだらダメ
- ・爪、髪、鼻をかんだ紙を燃やさない
- ・子供が粗相をしたら、灰を取りかえ、塩をまいて清める

●ダイドコロ(台所)の隠し倉庫

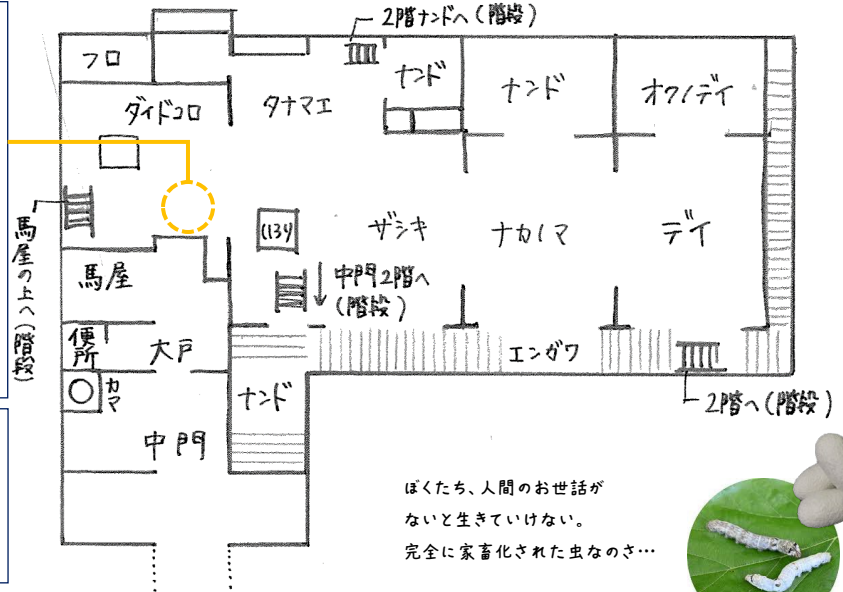
雪深くなる冬には外に出ることは少なく、家に閉じこもっていることが多かったそう。食糧は台所の床下の「ムロ(室)」に備蓄！

【備蓄された食糧】

- ・大根、白菜、にんじん、かぶ、ごぼうの塩漬け
- 野菜は自家用畑でとれたものを漬物に
- ・塩サケ ・干しニシン ・塩クジラ(イルカ)
- 山形県の日本海側から運ばれたものを購入

●屋根裏と中2階

実は家の4か所に階段があり、中2階や屋根裏(2階)へつながっています。中2階は納戸として、物置や寝室として使われました。



ぼくたち、人間のお世話がないと生きていけない。完全に家畜化された虫なのさ…

●蚕とともに暮らす(デイと2階屋根裏)

明治中期～昭和初期にかけて、この地域ではカイコ(蚕)を育てて生糸(絹糸)を生産する養蚕産業が盛んになった。この家が2階建て・大型化したのも、より効率的にたくさんのカイコを育て、生糸を生産するため。「デイ」や2階の屋根裏は、カイコを育てる場所として使われた。

【家族以外も住まう家】

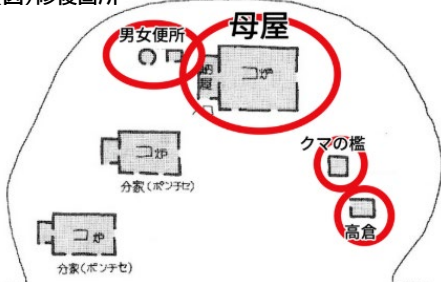
餌となる桑をとり、それを食べやすい大きさに切り、糞を掃除し…とカイコは人の手がなければ生きていけない。養蚕業が盛んな時期には、カイコのお世話でてんやわんや。手伝いとして近隣の集落から人(ヤイトリと呼ばれる)が集まったそう。この家に住んでいた家族もいれると**90人以上**が一定期間この家でくらしていたとか！？ ちょっとした工場だね！！？

ぜひ、きれいに作った
山形 月山山3くの家 を楽しみにお待ちしております！

2026年 1月上旬
開始予定

北海道 アイヌの家 修復工事のお知らせ
※修復の様子はご見学いただけます

(図)修復箇所



当館の「北海道 アイヌの家」は、1983年の復元以来、19世紀末の二風谷アイヌの生活を伝えてきました。

このたび、老朽化に伴い、**北海道二風谷から職人をお呼び**して、母屋の茅葺き屋根を約15年ぶりに葺き替えるほか、高倉やクマの檻といった付帯設備も更新します！

修復工事のためのクラウドファンディングもラストスパート！
最後まで応援よろしくをお願いします！(12/8 PM11:00 まで)



応援はこちら

うま
今年は午年！

リトルワールド 学芸通信⑩(2025年度)

2026年 春季特別展示

せかいのウマめぐりこぼれ話

あけましておめでとうございます！2026年の干支は「午（ウマ）」。
10種からなる「十干」と子、丑、寅、卯…でおなじみの12種からなる「十二支」を
合わせた「十干十二支（じっかんじゅうにし）」では、今年「丙午（ひのえうま）」
に当たります。「丙」も「午」も火の性質を持つとされ、エネルギーが高まる年とも言
われる今年、新しいことに挑戦してみるのもよいかもしれませんね。

じっかんじゅうにし
十干十二支って？

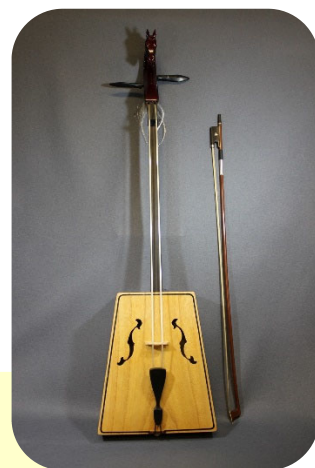
『鬼滅の刃』をはじめ、マンガやアニメなどで階級をあらわしたり、
方角や数をあらわしているのを見たことがある人も多いかも？



展示品
から

モンゴルの馬頭琴

日本では『スーホの白い馬』という民話で知られている馬頭琴。
モンゴルでは馬頭琴の由来にまつわる民話はいくつかあり、実は
ほかの民話の方がより広く知られているのだとか。
そのうちのひとつをご紹介します。



ある夫婦が暮らしていました。
ある日、夫は徴兵で家を離れ西の方へ向かいます。
夫はそこで別の女性と出会い、妻がいるにもかかわらず恋に落ちます。
夫は恋人と妻との間を、1日で千里飛ぶすばらしい馬で行き来しますが、
あるとき妻に真相を知られ、その馬を殺されてしまいます。
夫は馬の死を悲しみ、その馬の形に似せて作った琴、馬頭琴を弾きました。

モンゴルの民話は大人向けの内容や恋愛譚が多いそうじゃ。
すばらしい馬が夫の行いで命を落とすとはやりきれないのう…。



かいめい
解明！ウマのふるさと

リトルワールド 学芸通信⑩(2025年度)

近年の研究で、家畜ウマの起源はロシア南部のボルガ・ドン地域であることが、DNA分析で解明されました。

人々は繁殖させたウマとともに移動し、家畜ウマは瞬く間に西ヨーロッパから東アジアまで広がったと考えられています。



展示
から

たたか れきし
ウマと戦いの歴史



インカ帝国にはウマや大型の家畜がいまませんでした。

ウマに乗って戦うスペイン軍を前に、インカの人々は初めて見る騎兵の姿を恐れ、その速さと強さに圧倒されます。

インカ帝国の滅亡の理由の一つは「ウマがいなかった」ことだと言われています。

「ペルー 大農園領主の家」の壁画には、インカ軍とスペイン軍の戦いの様子が描かれています。

大迫力の壁画から、当時のインカの人々の衝撃を想像してみたいかがでしょうか。

1/11
開始！

ほっかいどう しゅうふくこうじ
北海道 アイヌの家の修復工事がはじまります！

2025年、クラウドファンディングに挑戦した「北海道 アイヌの家」の修復工事が1月11日(日)からいよいよはじまります。

期間中は二風谷アイヌの職人の皆さんによる修復の様子をご見学いただけます！



▲ 前回の修復工事の様子

当館での修復工事は、二風谷アイヌのベテラン職人から若手職人への伝統技術の継承も兼ねています。

期 間：1月11日(日)～2月初頭 予定
修復箇所：母屋、高倉、クマの檻、男女便所
※工事期間は状況により前後する可能性があります。



チョコレートのチョコっとばなし

2月14日は聖バレンタインデー。その由来は、3世紀頃、古代ローマの迫害によってじゅん教したキリスト教の司祭、聖ウァレンティヌスの記念日だといわれています。

日本では、チョコレートのおくり物をする日として親しまれています。リトルワールドでも美味しいチョコを手に入れることができますよ。今回は、バレンタインデーにちなんで、『チョコレート』についてのチョコっとばなしをおとどけします。

♡ チョコレートに4000年の歴史あり

チョコレートの原料はカカオですが、カカオはメソアメリカ(中米、メキシコあたり)が原産地であると考えられています。カカオの栽培は紀元前2000年頃までさかのぼることができますが、メソアメリカでは長らく実をすりつぶして飲むという方法で利用されていたようです。

カカオはマヤ、アステカ帝国などの王侯貴族の飲料のほか、薬や貨幣として使われていました。カカオは大変貴重なもので、供え物とされたり、各地にカカオの神の石彫が作られたりしました。当時の飲料は甘みが無く、トウガラシやトウモロコシを混ぜたりしたスパイシーなドリンクだったようです。



▲カカオの飲み物をもつ人(「ナトゥール絵文書」より)
(画像出典:1996年「チョコレートの博物誌」小学館)



▲「ホット・チョコレートを運ぶ娘」(リオタール、1743-45年)

ドレスデン アルテ・マイスター絵画館所蔵 (画像出典:ウィキペディアコモンズ [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Jean-Etienne_Liotard_-_Das_Schokoladenm%C3%A4dchen_\(ca._1744\).jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Jean-Etienne_Liotard_-_Das_Schokoladenm%C3%A4dchen_(ca._1744).jpg))

♡ ヨーロッパで変身!

15世紀末にコロンブスがアメリカに到達してからは、メキシコに植民したスペイン人によってチョコレートはヨーロッパに伝わりました。17世紀になると砂糖が使われるようになり、甘い飲料へと加工されるようになりました。それでも当初は、僧侶や貴族などの限られた人々の飲み物で、疲労回復剤として薬のように用いられたようです。左の絵の女性は、チョコレートといっしょに水を運んでいます。水なしでは飲めないほど濃厚な味だったということでしょう。

19世紀にはいると、チョコレートにも技術革新がおとずれます。飲料として飲みやすくするために、搾油技術が発明されました。19世紀後半のイギリスで、搾油されたココアバターを利用して食べるチョコレートが作られました。さらにミルクをブレンドしたミルクチョコレートがスイスで発明されました。

♡ 世界で愛されるし好品へ

カカオの生産は、メソアメリカからアフリカへと広がり、需要の増加に応じて生産量も大幅に増加しました。今ではチョコレート単体としてだけでなく、アイスクリームやビスケット、ケーキやパンなど幅広く利用され、世界中で愛される食品となっています。

日本にチョコレートが伝わったのは江戸時代。外国(オランダ・中国)との交易の窓口であった長崎に、チョコレート伝来の記録*が残されています。当時の長崎では異国の珍品『しょくらあと』として知られていたようです。

*寛政9年(1797年)『寄合町諸事書上控帳』



カカオの神様 エクチュアフ神

エクチュアフは、マヤの神々の中でかなり重要な神として信仰されていました。エクチュアフは4つを司る神様でした。それは、カカオ農園主(生産者)の神、商人の神、旅行者の神、戦争の神です。

カカオは貴重な作物で、当時のメソアメリカ社会の通貨として経済を支えていました。農園主はエクチュアフにカカオの豊作を祈りました。そしてカカオをめぐる通商ネットワークができ、マヤ文明は大いに繁栄しました。この通商を担った商人は、陸路・水路で遠距離を旅して貿易をおこないました。時にカカオの生産地をめぐる争いがおこり、土地を征服する動きもあったようです。こうして、カカオをめぐるさまざまな側面が、エクチュアフ神の役割に投影されていったのです。



▲エクチュアフ神(「マドリッド絵文書」より)
(画像出典:1996年「チョコレートの博物誌」小学館)

薬としてのカカオ

カカオ生産地のメソアメリカでは、古くから薬効性のある飲み物として広く知られていました。ほかに、カカオと薬草を混ぜてさまざまな病気の治療に用いていたようです。

●歯痛

薬草「イスキショチトル」の花にカカオを混ぜて飲むと歯の痛みが和らぐ

●胃腸薬

カカオバター、食用油、カミツレ茶、辛子の種を食べると胃が強くなる

●解熱

薬草「ヨロショチトル」をチョコレートに入れて飲むほかに喉の炎症、赤痢、血便、毒消しなどのレシピも残されているようです。

展示資料から

《チョコレートかくはん器》

(ユカタン・マヤ人、メキシコ、1972年収集)
チョコレートをつくるときの道具です。チョコレートを泡立てて飲むのがメキシコ流。



場所:本館展示室 2室「技術」
食べるための工夫コーナー

♡ チョコッとクイズ!

答えは下にあるよ!

① 世界でいちばんのチョコレート消費国は?

- A. イギリス B. 日本 C. スイス D. ベルギー

② カカオの生産量が世界一の国は?

- A. インドネシア B. ブラジル C. エクアドル D. コートジボアール

③ 『チョコレート』の語源はアステカ語の『ショコラトル』。その意味は何だった?

- A. 甘い水 B. 苦い水 C. 黒い水 D. 辛い水



世界の

春の訪れ、なにから感じる？



あたたかい日が増え、春の訪れを感じるような季節になりました。
みなさんはどんなもので春の訪れを感じますか？
たとえば梅や桜の開花、ひな祭り、卒業式や入学式、春分の日など…。
では、他の国では何をきっかけにして春を感じるのでしょうか？
世界の「春の訪れを告げるもの」をご紹介します。

グラウンドホッグデー



アメリカとカナダで2月2日に行われる風習で、ジリスの一種であるグラウンドホッグが冬眠から目覚めたときの行動で春の訪れを占います。その日が晴れでグラウンドホッグが自分の影を見れば冬は長引き、天気が悪く影が見えなければ春が近いとされます。



グラウンドホッグは自分の影をみると、驚いて巣穴にもどってしまうといわれています。

3月8日の「国際女性デー」のシンボルとして、近年は周りの女性にミモザを贈る習慣もあります。



ミモザ (ワトル)



原産地であるオーストラリアでは、9月1日（オーストラリアでは9月が暦上の春のはじまりです）をワトルの日として、春の始まりをお祝いします。

テオティワカンの春分 (エキノクシオ)



メキシコ・テオティワカンのピラミッドで行われる春分のお祝いでは、白い衣服に身を包んだ人々が、360段のピラミッドの階段をのぼり、空に向かって腕をあげて太陽の恩恵を受け、エネルギーを吸収します。



春分の日にはアステカ歴で新年に当たります。この頃ピラミッドの真上を太陽が通過します。

ルーマニア・卵博物館ヴァマのブコピアやウクライナ・プーサンカ美術館には世界中のイースターエッグが展示されています。



イースター (復活祭)



キリストの復活と、春の生命の復活を祝うイースターでは、新たな生命のシンボルとしての卵や、豊穡のシンボルであるウサギのほか、きびしい冬を越えて春に見ごろを迎えるスイセンも希望や再生の象徴として親しまれています。